

は じ め に

平成14年4月、福井県衛生研究所と福井県環境科学センターが統合し、福井県衛生環境研究センターとして、新たな一步を踏み出しました。

もとより今回の統合は効果的・効率的な組織運営を目指した行政改革の一環として行われたものであり、保健衛生・環境行政を科学的事実に基づき推進するための技術的中核機関としての当センターの役割にはいささかの変わりもないことは勿論ですが、今後、統合のメリットを最大限に発揮できるよう業務内容や組織・機能の充実を図っていかねばならないと考えております。そのための取り組みのひとつとして、これまで縦割りの壁に阻まれ、取り組みが遅れていた保健衛生と環境のインテグレートすなわち「環境とヒト・生物とのかかわりに関する総合的な調査研究」について、その推進を図っていききたいと考えております。

また、組織的には、管理室に新たに企画情報グループを設け、企画調整、情報収集・発信機能を強化するとともに、従来の保健科学部、生活科学部、環境保全部の3部のほかに、ダイオキシン類や環境ホルモンなど化学物質の総合的な調査研究を担当する環境科学部を新設いたしました。

平成14年度においては、福井県公設試験研究機関等評価ガイドラインを踏まえた当センターの評価要領に基づき、外部委員による機関評価、研究課題評価を実施しました。その結果、いずれにおいても妥当である旨の評価をいただきましたが、共同研究のさらなる推進、人材育成等いくつかの貴重なご意見をいただきました。今後、これらの課題を一つずつ克服しながら、必要な見直しを適切に行い、地域の課題の発掘とその解決に向けた取り組みを進め、真に地域に役立つ機関として機能できるよう職員一同、研鑽を重ねていききたいと考えております。

この報告書は、衛生環境研究センターとしての初めての年報であり、発足1年目の調査研究や活動の成果を取りまとめております。ご高覧のうえ、ご意見を賜れば幸いです。なお、衛生研究所と環境科学センターの年報は統合により、廃刊することとなりますが、調査研究等で継続するものは、本年報に続報を掲載してまいります。

今後とも関係機関と連携して「活力とやすらぎのある県民生活の実現」と「豊かで美しいふるさと福井の環境の保全と創造」をめざし、努力してまいりますので、関係各位のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

平成15年12月

福井県衛生環境研究センター

所 長 岡 島 一 雄